

ご使用前に本品容器記載の説明文及びこの文書(裏面あり)を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

2009年7月改訂(第2版)

殺菌消毒薬

劇薬(外用)

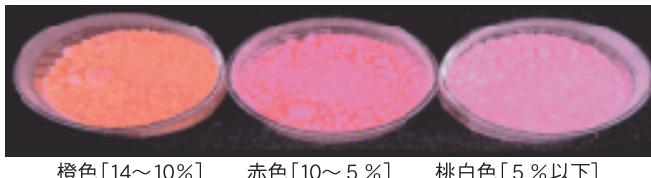
エフゲン

第2類医薬品

【製品の特長】

本品はホルムアルデヒドを10~14%含む、橙色・不定形顆粒の殺菌(高・中水準消毒)薬です。常温でホルムアルデヒド(ガス)が発生し、被消毒物を殺菌(高・中水準消毒)することが出来ます。本品中のホルムアルデヒドの含有量によって色が変化します。また固体の為、取扱いが簡単です。

下記はエフゲンのホルムアルデヒド含有量による、色の変化のおよその目安です。〔 〕内はホルムアルデヒドの含有量。



【使用上の注意】

☒ してはいけないこと

- ・次の人は使用しないこと
- 1. 本品及びホルマリンに過敏症(発疹、発赤、浮腫、喘息など)を起こしたことがある人。
- 2. 妊婦、妊娠の可能性のある人。

☏ 相談すること

- ・次の場合は医師・薬剤師に相談すること
- 1. 飲み込んだ場合。¹⁾
応急処置として、牛乳か卵白を与えて下さい。
- 2. 眼に入った場合又は眼に強い刺激を受けた場合。
応急処置として、水でよく洗浄して下さい。

【取扱い上の注意】

- 1. 滅菌には不向きです。²⁾
- 2. 細長いチューブやカテーテルの内腔にはホルマリンガスが入り難いため、効果が期待できません。²⁾
- 3. 本品は劇薬の為、直接素手で取扱わないで下さい。
- 4. 本品を取扱う時は、防毒マスク・ゴーグル・予防衣・ビニール手袋を着用して下さい。³⁾
- 5. アンモニア・水酸化アルカリ、血液や痰などの蛋白質、重金属、よう素塩などの易還元物質の存在で効果が減少します。
- 6. 被消毒物(器具類)は、洗浄後乾燥した状態で殺菌(高・中水準消毒)を行って下さい。
- 7. 殺菌(高・中水準消毒)の被消毒物(書籍、衣類、寝具など)は全体がホルムアルデヒド(ガス)に接するように重ねず(折り畳まずに広げて)密封容器内に入れて下さい。

殺菌消毒薬

劇薬(外用)

エフゲン

第2類医薬品

8. 温度18°C以上、湿度50%以上の使用が効果的です。温度10°C以下、湿度30%以下ではホルムアルデヒド(ガス)の出が悪く、効果が減少します。エフゲンの色が変わらないので、注意が必要です。²⁾
9. 殺菌(高・中水準消毒)後、容器内にホルムアルデヒド(ガス)が充満しています。密封容器には吸引器又は消臭器を設置して、ホルムアルデヒド(ガス)を除去又は中和するなどし、取扱い者や環境がホルムアルデヒド(ガス)に汚染されないように注意する必要があります。密封容器に脱臭機能が無いものは、ドラフトチャンバー内で開閉して下さい。
10. 橙色の状態で1回限りの使用が効果的です。

【效能又は効果】

器具類、書籍、衣類、寝具などの殺菌(高・中水準消毒)

【用法及び用量】

密封容器200g³⁾に対し本品30g²⁾の割合で使用して下さい。使用に際しては、密封容器内に殺菌(高・中水準消毒)の被消毒物を重ねずに置き、本品の必要量を平たい受皿に入れ同じ密封容器内に置いて殺菌(高・中水準消毒)して下さい。

【成分及び分量】

エフゲン150g²⁾中

日本薬局方 ホルマリン	50g ²⁾
日本薬局方 焼石膏	100g ²⁾
タール色素	0.1g ²⁾

【保管】

1. 本品は劇薬のため、他の物と区別して保管して下さい。
2. 遮光して、冷暗所(冷蔵・冷凍庫不可)で保管して下さい。

お問い合わせ先

阿蘇製薬株式会社 TEL 096-232-3933
9:00~17:00まで(土・日・祝日を除く)
FAX 096-232-2137

Fgen 製造販売元

阿蘇製薬株式会社

〒869-1101 熊本県菊池郡菊陽町津久礼91-1

裏面に補足項目の記載があります。

その他の補足項目

3. 接触¹⁾

皮膚刺激と硬化、濃厚液では凝固壊死皮膚炎、過敏症。

4. 発ガン性⁴⁾

発ガン性が報告されています。

※使用時は防具着用の事³⁾。

【廃棄方法】

1. 未処理

都道府県所轄の特別管理産業廃棄物処理業者(注射針等の処理業者)にマニフェストを発行のうえ処理を委託して下さい。

2. 薬品処理

a. 次亜塩素酸(10%)処理⁵⁾

エフゲン(使用済)約1kgに水7Lを加え、攪拌し、ホルマリン濃度を2%以下にします。その溶液1Lに対して攪拌しながら次亜塩素酸400mLを加えます。一日放置し、上澄液を捨て、残渣を乾燥させます。残渣にホルマリン臭が残る場合は同じ操作を繰り返します。処理後、医療産業廃棄物として処分して下さい。

[直接エフゲンに次亜塩素酸を加えると塩素ガスが出て危険です]

b. アンモニア(10%)処理

エフゲン(使用済)約1kgに湿らす程度アンモニア(10%)を加え、蓋をしてよく混和します。水を5~10L加え、一日放置します。上澄液を捨て、残渣を乾燥させます。残渣にホルマリン臭が残る場合は同じ操作を繰り返します。処理後、医療産業廃棄物として処分して下さい。

※F.gen official web site の廃棄方法を参考にして下さい。

【引用文献】

1) 西玲子 他 薬・毒物中毒救急マニュアル改訂7版 医療ジャーナル社 2003年

2) 鈴木朝勝 手術部医学マニュアル③ホルムアルデヒド殺菌 文光堂 1989年

3) 特定化学物質障害予防規則第7章保護具(第2類物質)

4) IARC CLASSIFIES FORMALDEHYDE AS CARCINOGENIC TO HUMANS

5) 毒物・劇物取締法 薬発第1090号 各都道府県知事宛厚生省薬務局通知 別添1